

1 はじめに

現在、我が国は少子高齢化やエネルギー資源を巡る問題に加え、世界的な地球温暖化への対応など大きな転換期に立っています。こうしたなか、持続可能な社会構築への先導役としてエネルギー産業の重要性が強く意識され、当社グループへの期待もますます高くなってきています。

当社グループはその期待に応えるべく、創立60周年という節目を迎えるにあたり、あらためて事業の原点を見据えつつ未来を展望し、時代を超えて大切にしたい思いを「中部電力グループ企業理念」として掲げ、その理念のもとに「中部電力グループ 経営ビジョン 2030」を策定しました。

あわせて、この主旨を端的に表現したものとして新たなコーポレートスローガンを策定しました。

『中部電力グループ企業理念』

中部電力グループは、
くらしに欠かせないエネルギーをお届けし、社会の発展に貢献します。

誠意と努力

誠意をもって努力を積み重ね、変わらぬ使命を果たし、
お客さまや社会からの信頼に応えます。

創意と挑戦

創意をもって新たな挑戦を続け、つねに優れたサービスを追求し、
お客さまや社会からの期待に応えます。

自律と協働

一人ひとりが互いを尊重しながら個性を発揮し、協働することで、
のびやかで力強い企業文化を築きます。

『コーポレートスローガン』

時代の先へ。ひとりのそばへ。

『企業理念の実践に向けて』



2 『中部電力グループ 経営ビジョン 2030』

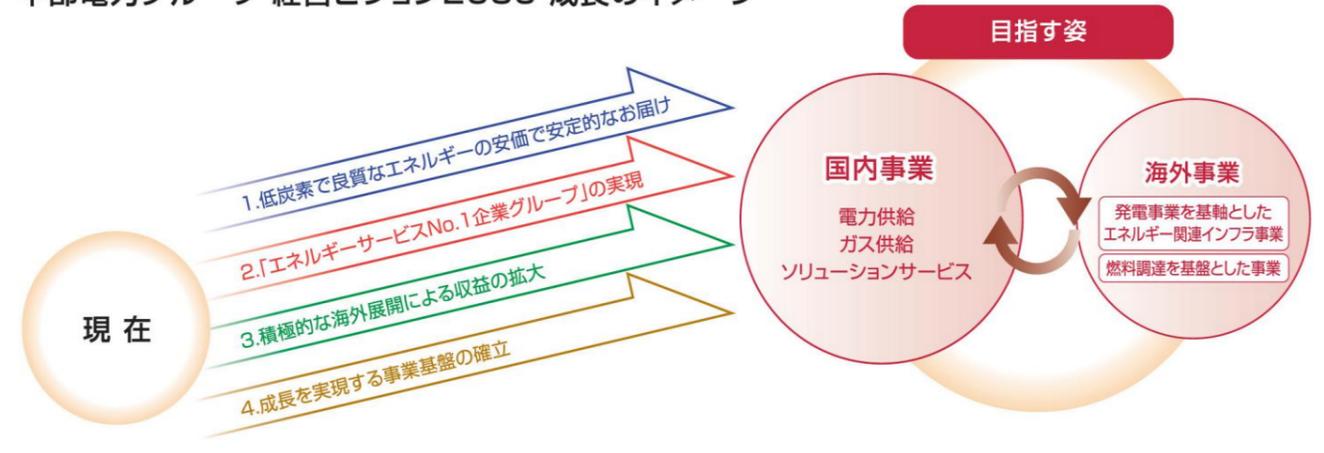
お客さまからの信頼と期待に応えるために、4つのミッションを果たし、目指す姿である「エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えし、成長し続ける企業グループ」を実現することで、社会の発展に貢献していきます。

【目指す姿】

「エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えし、成長し続ける企業グループ」

- 「エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えする」ことを基本として、お客さまとともに最適なエネルギー利用を追求することで、お客さまに選んでいただける「エネルギーサービス No.1 企業グループ」を目指します。
- 持続的な成長を確かなものとするため、これまで国内電気事業で培ってきた経営資源・ノウハウを活用し、海外での事業展開などに挑戦することで、新たな企業価値を創出していきます。

中部電力グループ 経営ビジョン2030 成長のイメージ



【目指す姿の実現に向けた4つのミッション】

ミッション1 低炭素で良質なエネルギーの安価で安定的なお届け

冊子 P5-6

いつの時代においても、お客さまの生活・産業に不可欠である良質なエネルギーを安価で安定的にお届けすることで地域・社会の発展に貢献していくとともに、低炭素社会の実現に取り組みます。

＜低炭素な電気の追求＞

- ◆原子力発電の推進
- ◆再生可能エネルギーの導入拡大
- ◆火力発電の高効率化の推進

＜良質なエネルギーの安価で安定的なお届け＞

- ◆最適な設備形成・保全
- ◆良質な電気をお届けするための次世代電力ネットワークの形成
- ◆燃料調達の実定・経済性の向上
- ◆エネルギー供給を支える業務品質の向上

ミッション2 「エネルギーサービス No.1 企業グループ」の実現

冊子 P7-10

お客さまとともに最適なエネルギー利用を追求することで、「エネルギーサービス No.1 企業グループ」を目指します。

＜家庭用分野 オール電化やエネルギーコンサルティングから広がる豊かな暮らしのトータルサポート＞

- ◆オール電化でかなえる便利で快適な暮らしのご提案
- ◆エネルギーの最適利用をコンサルティング
- ◆お客さまとの「つながり」を活かした暮らしに関するサービスのご提供

＜ビジネス分野 電気・ガス それぞれの強みを活かしたエネルギーソリューション＞

- ◆生産プロセスなどにおける電化の推進
- ◆お客さまのニーズを捉えたガス・LNG 販売の拡大
- ◆オンサイトエネルギーサービス・ESCO 事業の推進

ミッション3 積極的な海外展開による収益の拡大

冊子 P11-12

将来にわたる持続的な成長を確かなものとするために、経営資源を最大限に活用して海外での事業展開を進め、収益の拡大を目指します。また、海外事業を通じて技術力やブランド力などの向上を図ることにより経営基盤を強化し、国内のエネルギーサービスをさらに充実させます。

＜発電事業を基軸としたエネルギー関連インフラ事業＞

- ◆火力発電プロジェクトを中心とした発電事業の推進
- ◆発電事業以外のエネルギー関連インフラ事業の推進

＜燃料調達を基軸とした事業＞

- ◆エネルギー資源の権益取得の拡大
- ◆石炭トレーディングの推進

ミッション4 成長を実現する事業基盤の確立

冊子 P13-14

お客さまや社会からの信頼と期待に応えるため、これまで以上に「社会的責任の完遂」に向け努力するとともに、すべての事業活動の礎となる「人財・組織」「グループ総合力」「技術研究開発」についても、より一層充実させます。

＜企業の社会的責任の完遂＞

- ◆地球環境保全への貢献
- ◆コンプライアンス経営の推進
- ◆ステークホルダーとのコミュニケーションの充実

＜人財の確保・育成・活用＞

- ◆ダイバーシティの推進
- ◆海外事業や新たな事業を推進する人財の確保・育成
- ◆風通しの良い職場風土づくりと創意工夫

＜グループ総合力の発揮・向上＞

- ◆エネルギー供給における一体的な業務運営の推進
- ◆「エネルギーサービス No.1 企業グループ」の実現に向けた事業体制の確立

＜技術研究開発の推進＞

- ◆低炭素で良質なエネルギーの安価で安定的なお届けに向けた技術開発
- ◆「エネルギーサービス No.1 企業グループ」の実現に向けた技術開発

【目指す姿の定量イメージ】

冊子 P15

項目	2009 年度実績	目指す姿	
ゼロ・エミッション電源比率※1	原子力比率	14%	50～60%程度
	再生可能エネルギー比率	8.8%	10～15%程度
エネルギー販売量	販売電力量	1,228 億 kWh	1,400 億 kWh
	ガス・LNG 販売量	53 万 t	200 万 t
海外におけるエネルギー関連インフラ事業	発電事業持分出力	110 万 kW	1,000 万 kW
国内電気事業以外の成長イメージ	国内電気事業以外の経常利益※2	160 億円	800 億円以上

※1 発電電力量に占める割合

※2 当社附帯事業および連結子会社の経常利益の単純合計に持分法適用会社投資損益を加えた額